第29回海洋工学シンポジウム
「SDGsの達成に向けて海洋工学ができること」
プログラム

開催日：2022年3月7日（月）・8日（火） オンライン開催

各会場（Zoomミーティング）へのアクセス先については、別途配布している「オンライン開催マニュアル」をご参照ください。

3 月 7 日 （月）

第1会場

	開始	終了	
一般講演	9:40	10:00	TIS手法を用いた我が国の洋上風力発電政策の評価, 内田大貴， 高木健
	10:00	10:20	津波自主避難計画作成手法に関する研究, 高須健亘, 星上幸良
OS2.津波の下での底面境界層と土砂移動	10:20	10:40	津波の下での底面境界層特性に関する検討, 田中 仁， Nguyen Xuan Tinh
	10:40	11:00	The importance of wave friction factor in tsunami models, Nguyen Xuan Tinh， Hitoshi Tanaka
	11:00	11:20	The role of sediment supply and topography on estuarine recovery after the 2011 tsunami, Nguyen Trong Hiep， Hitoshi Tanaka， Nguyen Xuan Tinh
	11:20	11:40	土砂移動計算に基づく砂質津波/高波堆積物の分布傾向の検証, 渡部真史， 後藤和久， Volker Roeber， 今村文彦
	11:40	12:00	遡上津波の圧力勾配及び浮遊砂流の影響を考慮した津波土砂移動解析, 山下啓, 菅原大助, 高橋智幸
昼休み			
OS1. 津波による漂流物の衝突影響の評価について	13:00	13:20	津波漂流物の衝突影響の評価の議論について, 木原直人, 甲斐田秀樹
	13:20	13:40	津波による津波漂流物の防潮堤への衝突評価に関する実験的研究, 織田幸伸, 本田 隆英, 橋本 貴之
	13:40	14:00	津波漂流物衝突力研究の現状と課題, 甲斐田秀樹, 木原直人
	14:00	14:20	津波漂流物の衝突力に関する実験的研究, 富田孝史， 木原直人
	14:20	14:40	津波による複合ハザード予測（氾濫，土砂移動，船舶・タンク漂流）の数値モデルの開発, 鴫原良典, 山下啓
休憩			
基調講演1	15:10	16:10	国立研究開発法人 海洋研究開発機構 理事 河野 健 様 「JAMSTECにおける気候研究と海洋観測の歩み」
基調講演2	16:10	17:10	合同会社ポスト石油戦略研究所 代表 大場 紀章様 「ポスト石油時代への産業変革」

第2会場

	開始	終了	
OS10. 海洋・沿岸域の総合的管理の実現に向けて	8:55	9:00	趣旨説明 居駒知樹
	9:00	9:20	海洋・沿岸域の総合的管理の実現に向けたアピール ～第4期海洋基本計画への政策提言～ 脇田 和美
	9:20	9:40	沿岸域の総合的管理を着実かつ適切に実行するための制度の構築に向けて 古川 恵太
	9:40	10:00	EEZ・大陸棚を含む海洋空間の総合的管理 牧野光琢
	10:00	10:20	提言3：海の安全および安全保障の現実的な確保を 瀬田 真
	10:20	10:40	脱炭素社会実現の鍵となる次世代の海洋産業の育成・創出に向けて 村井基彦
	10:40	11:00	海洋に関する人材の育成およびあらゆる人の理解の増進と国際協調の推進 角田智彦
	11:00	12:00	総合討論
昼休み			
OS8. JAMSTEC中西賞受賞記念講演	13:50	15:10	JAMSTEC中西賞紹介, 小林昭男（日本海洋工学会会長）
			変動する海面での音波反射における実効的な粗さの検討（海洋音響学会推薦）, 津久井智也, 平田慎之介, 蜂屋弘之
			海洋生物資源の最適漁獲システムの研究（日本水産工学会推薦）, 東海正
			Applicability of tracking simulation for probabilistic assessment of floating debris collision in tsunami inundation flow（土木学会推薦）, 木原直人, 甲斐田秀樹

第3会場

	開始	終了	
OS5. 海底資源・海洋空間利用セッション ―海と陸における資源開発・空間利用の現状と環境負荷の比較考察―	8:55	9:00	趣旨説明 山崎哲生
	9:00	9:20	マンガン団塊開発と陸上資源開発のTMR（関与物質総量）比較 山崎哲生, 中谷直樹, 新井励
	9:20	9:40	企業報告書から読み解く陸上鉱物資源開発とSDGsの関係 畑山博樹
	9:40	10:00	海底鉱物資源開発を巡る最新技術動向 岡本信行
	10:00	10:20	機械式揚鉱方式と流体ドレッジ方式によるマンガン団塊開発の経済性予測 山崎哲生, 中谷直樹, 新井励
	10:20	10:40	人為的高品位化と重金属イオン濃度問題対応策に基づく海底熱水鉱床開発の経済性予測 山崎哲生, 中谷直樹, 新井励
	10:40	11:00	実海域でのコバルトリッチクラスト掘削性能確認試験に関連する成果と考察 川野誠矢， 湊谷純平， 髙橋達， 折田清隆， 中村峻介, 五十嵐吉昭, 塩川智, 野尻洋子, 植山淑治, 渡部一雄
	11:00	11:20	Mechanical Properties of Tensile Strengh of Methane Hydrate using DEM Wenxiang Ye， Toru Sato， Norio Tenma
	11:20	11:40	Numerical Simulation of Microscopic Carbon Dioxide Hydrate Formation in Two-phase Flow Shuyan Lu， Alan Junji Yamaguchi， Kaito Kobayashi， Toru Sato， Takaomi Tobase
昼休み			
一般講演	13:00	13:20	AUV「Deep1」による巡航式Photo Survey, 浅野佑香, 増田康佑, 大辻由希, 杉本慎吾, 後藤慎二
	13:20	13:40	2019年10月の台風19号通過時における 富山・新潟県沿岸域の海象の特徴把握, 犬飼直之, 上原直也, 金村昴
	13:40	14:00	海底での混相流解析に向けた不連続体解析手法の開発, 古庄一輝, 湯浦哲大, 橋本博公
	14:00	14:20	回転円柱周りの流れ場に与える円柱表面粗度の影響に関する実験的研究, 鈴木雅洋, 居駒知樹, 相田康洋, 林昌奎
	14:20	14:40	減衰効果を持つ浮体式空港の荒波中流力弾性応答, 春田英輝, 村井基彦

3 月 8 日 （火）

	第1会場				第2会場				第3会場			
	開始	終了			開始	終了			開始	終了	
									9:40	10:00	波力発電を用いた沿岸漁業向け監視システムの開発, 今井康貴
OS3. 海洋建築とSDGs：健全な地球環境と生活環境への対応	10:00	10:20	海洋建築からみた砂浜の環境保全, 小林昭男, 星上幸良						10:00	10:20	単バケット式波力タービンの挙動シミュレーション, 鶴田悠斗, 千賀英敬, 谷口友哉, 秋元博路
	10:20	10:40	海岸漂着ゴミの現状と課題, 星上幸良, 高須健亘, 菊池桂史, 野口桃菜						10:20	10:40	PW-OWC型波力発電装置の振動特性に関する研究, 古川景菜, 居駒知樹, 相田康洋, 増田光一
	10:40	11:00	風と波を受ける浮体式洋上風車の損傷度評価, 藤田謙一, 矢代晴実	OS7. 開始された国連海洋科学の10年	10:40	11:00	国連海洋科学の10年－その目標と意義－, 道田豊	一般講演	10:40	11:00	三井E＆Sグループによる機械式波力発電装置実現への挑戦, 宮島省吾, 中野訓雄
	11:00	11:20	温暖化に伴う海藻資源の育成, 堀田健治		11:00	11:20	国連海洋科学の10年に関連する IOC/WESTPACの活動と第2回黒潮国際共同研究プロジェクト, 安藤健太郎		11:00	11:20	ポイントアブソーバー型波力発電に搭載されたリニア発電機内の内部抵抗および推力係数が発電量に及ぼす影響, 垣本真之介, 村井基彦
	11:20	11:40	気候変動への適応を意図した浮体式建築物の計画的背景と建設動向, 菅原遼, 畔柳昭雄		11:20	11:40	漂流マイクロプラスチックのモニタリング手法調和及びデータ集約の取り組み, 馬場 千尋	OS9. 海洋再生可能エネルギー	11:20	11:40	無係留洋上発電浮体の試設計, 中辻美音, 土橋優貴, 橋本博公
	11:40	12:00	市民でSDGsを実践する　一湘南VISION大学とブルーフラッグ－, 壱岐信二, 片山清宏, 久保卓, 福室貴雅		11:40	12:00	国連海洋科学の10年「ブルーエコノミーのための循環型養殖と水質改善に向けた教育」に関する報告, 佐々木剛, 遠藤雅人, 小林武志, 板倉佑樹, 成泰敬, 芳賀穣, 二見邦彦, 若松美保子, 大石太郎, 原田幸子, 川名優孝, 水谷 史門, 李思聡, 郭欣怡		11:40	12:00	ムーンプールを有するポンツーン型浮体に搭載された垂直軸型ツイン風車の回転が浮体運動に与える影響について, 藤島健英, 居駒知樹, 相田康洋
昼休み					昼休み				昼休み			
OS4. 海洋建築とSDGs：気候変動や災害への対応	13:00	13:20	災害時医療支援浮体の基本計画と適地選定に関する研究, 惠藤浩朗, 塩島宇晶, 登川幸生, 居駒知樹, 増田光一	一般講演	13:00	13:20	防潮堤の防災機能の強化・維持対策で設置される捨石補強工の周辺景観への影響について, 後藤浩	一般講演	13:00	13:20	洋上風力地盤調査船への局地的潮流予測, 岩下　遼, 松田　靖
	13:20	13:40	自動式津波減災システム（防波立扉）への波圧解析, 濵田英外		13:20	13:40	突発性水害発生に対応したFLOATING CABINの研究開発, 畔柳昭雄, 増田光一, 相田康洋		13:20	13:40	海流発電装置の安全性と経済性を両立させる制御, 高木　健
	13:40	14:00	教訓を後世に伝承する津波碑の保存整備と利活用, 寺口敬秀		13:40	14:00	スパー型浮体式風車を想定した大傾斜状態にするための重心位置変動による傾斜角制御に関する研究, 山口美月, 村井元彦		13:40	14:00	ESP32を用いた海洋通信システムの開発, 今井康貴, 今泉拓真
	14:00	14:20	津波来襲時に漂流船舶が引き起こす二次災害に対する浮体式津波対策用岸壁の防災・減災性能について, 増田光弘, 筒井千暁, 南清和		14:00	14:20	レアアース泥賦存海域における江戸っ子1号による海底生態系モニタリング, 杉島英樹, 大島夢加, 大野敦生, 峯岸宣遠, 李相均, 三輪哲也, 川口慎介, 松ヶ浦史郎, 山本啓之		14:00	14:20	A Study on Integration of Floating Offshore Wind Turbine and Point-Absorber Wave Energy Converters, Hongzhong Zhu, Changhong Hu, Shigeo Yoshida
	14:20	14:40	海底地すべり流動が洋上風力基礎に及ぼす衝撃圧に関する基礎検討, 村田一城, 佐々真志, 相田康洋, 居駒知樹		14:20	14:40	粒子追跡法を用いた対馬海峡における洋上漂流プラスチックごみの集積帯の特定, 和気正純, 佐藤徹, 金尾俊介		14:20	14:40	浮体運動と風の干渉を考慮した双発垂直軸型風車の発電量変化の検討, 佐藤なつ美, 村井基彦
	14:40	15:00	MPS法による無反射境界条件を用いた数値波動水槽の開発, 竹尾知峻, 居駒知樹, 相田康洋		14:40	15:00	定置網漁業の自動魚群誘導システムの性能実験とシミュレーション, 古市大剛, 李儀, 水上洋一, 北澤大輔		14:40	15:00	浮遊軸型風車の水槽模型実験による風波条件下の浮体挙動計測, 千賀英敬, 今度雅貴, 藤澤卓彌, 藤田岳, 今岡知武, 秋元博路
休憩					休憩				休憩			
OS11. 海洋音響計測手法の標準化	15:10	15:30	持続的な海洋開発における海洋音響計測手法の標準化, 赤松友成	一般講演	15:10	15:30	統計的手法による海洋生態系モデルのパラメータ最適化, 遠藤和真, 周金鑫, 北澤大輔	OS6. コンクリート浮体による洋上風力発電ファームの可能性	15:10	15:30	生産シミュレーションを用いたコンクリート製浮体の生産拠点設計手法に関する研究, 満行泰河, 佐藤馨太
	15:30	15:50	生物由来パルス音を用いた環境指標と海域環境計測への活用, 渡部 守義		15:30	15:50	伊勢湾におけるEcopathの構築, 草野恒平, 多部田茂, 丸山拓也, 水野勝紀		15:30	15:50	洋上風力発電用コンクリート製浮体形状の提案, 齋藤柊, 西山椋太, 藤山知加子
	15:50	16:10	海洋再生可能エネルギーの水中音評価における数値シミュレーションの役割, 土屋　健伸		15:50	16:10	水難事故防止を目的とした東京湾奥部の干潟における潮位変動の把握, 犬飼直之, 田邉修斗		15:50	16:10	鉄筋コンクリート製セミサブ型洋上風力発電浮体の提案, 西山椋太, 齋藤柊, 藤山知加子
	16:10	16:30	音響による水産生物資源量計測のための標準化の取り組み, 澤田浩一						16:10	16:30	生産・輸送・施工モデル連結による洋上風力発電プロジェクトの事業性評価に関する研究, 丹羽 智哉、満行 泰河
									16:30	16:50	浮体式洋上風車のブロック工法を想定した矩形浮体同士の洋上接合に関する基礎的検討, 近藤柊斗, 村井基彦